

## 第 35 回産研技術室報告会—第 29 回蛋白研技術部報告会(2022)

羽子岡 仁志  
 工作班 機械加工係

## 開催日程

日時:令和 4 年 12 月 16 日(金) 13:30~16:35

場所:産業科学研究所インキュベーション棟 1F 講義室(I-117)

## 概要

蛋白質研究所技術部と合同で技術室報告会を行った。今年度はコロナ禍の影響も収まりつつあったため、現地開催のみで報告会を実施。報告会の参加者は約30名。プログラムについては下記の通り。発表では技術職員による発表を6件(産業科学研究所5件、蛋白質研究所1件)行い、ユーザーズレポートとして産業科学研究所の山田研究室から近藤先生、招待講演として理学研究科技術部室長の稲角様に講演をお願いした。

➤ 開会のあいさつ 産業科学研究所	所長	関野 徹
	技術室運営委員長	田中 秀和
➤ 分析機器の環境整備・利用者支援について	技術職員	高原 綱吉
➤ 高速充放電可能な新規水系蓄電デバイスの創製	山田研究室 助教	近藤 靖幸
➤ 電子回折による有機低分子の構造解析-MicroED-の導入へ向けて	技術職員	村上 洋輔
➤ 蛋白研 放射性同位元素実験室の管理業務紹介	蛋白質研究所 技術職員	阿部 直行
➤ 他機関との連携事例紹介	理学研究科技術部 室長	稲角 直也
➤ 5 軸加工機の活用について	技術職員	松下 雄貴
➤ 物質・デバイス領域共同研究拠点の公募申請システムの開発について	技術専門職員	山中 卓也
➤ 閉会の挨拶	技術室室長	大西 政義

## 所管

技術室報告会は、異なる派遣先で業務を行う技術職員の経験や知識を共有する重要な機会となっています。今年度の報告会では、産研技術室からは分析に関する 2 つの報告、工作と情報に関するそれぞれ 1 つの報告がされました。最先端の情報から仕事の工夫まで多岐にわたり、非常に有益なものでした。

昨年度の報告会で大学全体の取り組みが報告されたのを受けて、今年度は理学部の稲角室長から、技術職員として他機関との連携事例についての報告を受けました。具体的な連携の方法を詳述したその報告は非常に参考になりました。

しかしながら、今回の報告会では反省点も見つかりました。具体的には、現地での開催だけでなく、より多くの人々が気軽に参加できるようにハイブリッド形式での開催も検討すべきだと感じました。これにより、更なる意見交換や情報共有が可能となり、技術室報告会が更に充実したものになると考えています。

